

承認番号	219
研究課題名	腹膜透析患者の血糖コントロール指標についての検討
研究の意義・目的	腹膜透析患者においてグリコアルブミン(GA)が血糖状態の指標や予後予測因子として有用であるのかどうかを検討します。2003年～2013年に井上病院では日常診療で糖尿病のある腹膜透析患者においてヘモグロビンエーワンシ(HbA1c)とGAの両方を計測していたので、その患者の診療記録を後ろ向きに調査します。各症例でHbA1cとGAを同時に測定した日を起点とし、その起点日での横断研究でHbA1cと血糖、GA血糖との関連を解析、各症例の起点日から3年間での生命予後とHbA1cとGAの関連を検討します。
研究期間	研究実施期間：承認後～2030年12月31日
研究対象者の範囲	2003年1月1日～2013年12月31日(この間に当院で腹膜透析治療を行っていた患者さんで糖尿病を合併していた方)
利用又は提供する試料・情報の項目	過去のカルテから血糖、GA、HbA1cや予後のデータを調査します。
利用者の範囲	<input type="checkbox"/> 自施設のみ <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input checked="" type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	研究代表施設：蒼龍会井上病院 研究代表者：院長 辻本吉広 共同研究施設：大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学 共同研究機関の研究責任者：講師 蔵城雅文
代表施設のURL	http://soryu.jp → https://inoue.aijinkai.or.jp/
研究成果を公表する方法	学会、論文で発表
試料・情報の提供方法	他の機関に試料・情報の提供を行わない
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究代表施設：蒼龍会井上病院 研究代表者：院長 辻本吉広
拒否機会の保障	本研究対象者又は代理人の方は、下記に連絡することによって、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。
拒否を受け付ける方法	蒼龍会井上病院 院長 辻本吉広 電話06-6385-8651にて連絡してください